

地区支部だより

2025年1月発行

おおつ健康フェスティバル ～救急蘇生法・AED体験/看護のお仕事紹介コーナー～

令和6年10月6日(日)明日都浜大津にて「伸ばそう健康寿命-身に着けよう健康習慣-」をテーマに2024おおつ健康フェスティバルが開催されました。13団体からなる実行委員会が主催となって各団体が趣向を凝らし、健康に関する様々なステージイベントやコーナーが設けられ、高齢者や家族連れなど多くの方で賑わいました。健康で生きがいを持って人生を豊かに、自分らしく明るく暮らすことができる地域社会の実現を目指すためには、市民一人ひとりが健康に目を向けることが大切です。

滋賀県看護協会第一地区支部、看護ネットのブースは「救急蘇生法・AED体験コーナー」で、滋賀医科大学医学部付属病院、大津赤十字病院、市立大津市民病院のBLSインストラクター計5名と共に参加しました。100名以上の方がブースを訪れてくださる盛況ぶり、アンケートでは9割以上の方から「満足」、8割以上の方が「今後の生活に役立ちそう」との回答をいただきました。ほかにも「普段触れる機会がない為、相談しながら体験できてよかった」「実際にやってみると難しかった」「毎年このコーナーを楽しみに来場しています」「年一回やり方を思い出し、確認する機会にしています」「子どもにも見せることでよかった」などたくさんの感想をいただきました。看護のお仕事紹介では白衣着用体験コーナーを設けており、子どもたちがかっこよくポーズをキメて記念撮影を行うなど微笑ましい場面もあり、心温まる1日でした。

救急蘇生法・AED体験コーナーを担当していただきましたスタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。



2024年度 看護ネットの活動について

令和6年度の滋賀県看護協会第一地区支部・看護ネットは、医療と地域をつなぐ活動として大津圏域7ブロックで開催される多職種連携の研修会について26件のご案内をさせていただきました。各ブロックの研修会だけでも約60名の病院や訪問看護ステーションの看護職の方々のご参加があり、施設看護師が参加することで、顔が見える連携になったとの声を地域の方からもいただくことができました。

また、10月6日に明日都浜大津で開催されました「おおつ健康フェスティバル」では役員全員が参加し、看護師確保のための活動を行いました。その他、各施設のスペシャリストの活動内容の一覧表を作成し、地域へと活動の場を広げていければと考えております。研修会を依頼する際に、是非参考にさせていただきたいと思っております。

在宅療養支援体制の中で看護ネットが十分に役割を発揮できるよう今後も検討を重ね、活動して参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



スペシャリストの実践に学ぶ



今年度も10月から12月にかけて、病院や訪問看護ステーションで活躍されている8領域の専門・認定看護師の方にご協力いただき、病院、訪問看護ステーション、デイセンターの9施設に出前講座を開催しました。「感染管理」「摂食・嚥下障害看護」「脳卒中リハビリテーション看護」「認知症看護」「精神看護」「慢性心不全看護」「皮膚排泄ケア」「慢性呼吸器疾患看護」の専門・認定看護師と依頼元施設間で、実際に困っていることや相談したいことなどについて事前に打ち合わせを行っていただき、病態についての理解を深め、対応についての悩みや問題解決を図る貴重な機会となりました。

講座には看護師だけでなく多職種のご参加をいただき、「とてもわかりやすい講義だった」「直接助言や相談に乗ってもらえたことが大変ありがたかった」「基礎を知ることができ勉強になった」「共通のツールで病態を認識していると、異常の早期発見や受診行動につながり連携も取りやすいと感じました」との感想が寄せられ、チーム医療の実践に繋がる、実りある研修会になったとの評価がありました。専門・認定看護師からも「病院以外での同職種間の顔の見える連携が図れたことに対して、今後も円滑な調整に繋げることができる」との期待感とともに、専門・認定看護師としてどう活動していくべきかの課題を見出したとの活動報告がありました。

今後もこの企画継続を望む声が聞かれており、地域全体の看護の質向上の一助となるよう取り組んでまいります。

委員のおしごと紹介：琵琶湖大橋病院



皆様、こんにちは第一地区支部副支部長の齊藤です。
今日は私が勤めている琵琶湖大橋病院について紹介させていただきます。



当院は、琵琶湖を東西に跨ぐ琵琶湖大橋の西詰に位置し、2025年で創立45年を迎えます。

病床数は199床〔一般急性期病棟47床(内、地域包括ケア病床8床)、一般障害者病棟100床、療養棟52床〕の総合病院です。訪問診療、訪問看護などの在宅医療のみならず、介護老人保健施設、グループホーム、デイサービス、在宅型有料老人ホームを有し、これらを当院がサポートすることにより、今後の超高齢化社会を見据え、医療と介護をシームレスに提供する体制を確立し、大津市北部の中核病院として、地域包括ケアシステムの中心的役割を担っております。

199床と中規模の民間病院ですが、循環器内科のカテーテル治療、消化器外科、整形外科、眼科、腎臓内科シャント手術の症例数は増加傾向です。断らない救急、急患の受け入れとともに急性期医療も取り組んでおり、また患者数滋賀県一の人工透析では、充実したサポート態勢を整えています。

看護部では、「人間性豊かで、温かみのある看護をめざします」を理念に掲げ、患者様とのふれあいを大切に看護の質の向上と業務の充実に向けて取り組んでいます。

また、当院は2027年夏頃に所在地のすぐ近くに新築移転する予定になっております。新病院に向けて病院のあり方を考え、様々な改革を行っています。



地区支部だよりは、滋賀県看護協会ホームページにも掲載しています